

8. 「日本語・日本文化教育科目」における「日本語科目」の概要

ここでは、日本語・日本文化教育科目のうち、＜日本語＞科目のみを掲載しています。他の科目および授業の詳しい内容や授業計画（シラバス）については、『同志社大学シラバス』（Website<http://syllabus.doshisha.ac.jp>）で確認してください。

学習段階Ⅰ（初級前期）

＜対象＞初級の基礎的な学習から始める者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現AⅠ）

- ＜目的＞ 初級前半レベルの基本的な文型を用いて、身近なトピックについて、短い文で話せるようになる。
- ＜内容＞ 身近なトピックについて話すために必要な文型を理解した上で、会話練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現BⅠ）

- ＜目的＞ 日常生活の中でよく出会う場面において、どのような表現を使うのかを理解する。
- ＜内容＞ 日常生活の中でよく出会う場面を取り上げて、よく使う表現を導入し、会話練習を行う。なめらかな発話を目指して、発音指導も行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅰ）

- ＜目的＞ 初級前半レベルの基礎的な文法事項を理解する。
- ＜内容＞ 初級前半レベルの基本的な文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅱ（初級後期）

＜対象＞初級前半レベルの学習を終えた者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現AⅡ）

- ＜目的＞ 初級の基本的な文型を用いて、身近なトピックについて、短い文で話せるようになる。
- ＜内容＞ 身近なトピックについて話すために必要な文型を理解した上で、会話練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現BⅡ）

- ＜目的＞ 日常生活の中でよく出会う場面において、どのような表現を使うのかを理解する。
- ＜内容＞ 日常生活の中でよく出会う場面を取り上げて、よく使う表現を導入し、会話練習を行う。なめらかな発話を目指して、発音指導も行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅱ）

- ＜目的＞ 初級後半レベルの基礎的な文法事項を理解する。
- ＜内容＞ 初級後半レベルの基本的な文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅲ（初中級）

《対象》初級の学習を一度は終えているが、初級の復習をしてから中級の学習に入ることが望ましい者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅲ）

＜目的＞身近なテーマについて、既習の文型を用いて、まとまりのある文章を書く。

＜内容＞身近なテーマについて、文章の全体的な構成に気をつけて、適切な文型を用いて書く練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現Ⅲ）

＜目的＞日常生活の中でよく出会う場面において、適切な表現ができるようになる。

＜内容＞日常生活の中でよく出会う場面を取り上げて、既習の文型や表現を使って、会話練習を行う。なめらかな発話を目指して、発音指導も行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅲ）

＜目的＞初級の文法事項を定着させ、中級の最重要文型を理解する。

＜内容＞初級の文法事項の復習を行った上で、中級の最重要文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅳ（中級前期）

《対象》初級の学習を終え、かつ学習事項が定着している者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅳ）

＜目的＞600字程度のまとまった文章を書く。

＜内容＞身近なトピックについてまとめたり、簡単なレポートや手紙などを書く。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現Ⅳ）

＜目的＞基本的な日常会話の表現が使えるようになり、また、簡単なディスカッションができるよう、口頭表現能力を伸ばす。

＜内容＞自分の意思が伝えられるように、機能や場面に応じた会話表現を練習する。身近なテーマについてディスカッションを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅳ）

＜目的＞中級の重要文型を理解する。

＜内容＞中級の重要文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅴ（中級後期）

≪対象≫中級前半レベルの学習を終えた者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅴ）

- ＜目的＞ 800 字程度のまとまった文章を書く。
- ＜内容＞ 身近なトピックについてまとめたり、簡単なレポートや手紙などを書く。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現Ⅴ）

- ＜目的＞ 応用的な日常会話の表現が使えるようになり、ディスカッションをするための口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞ 自分の意見が正確に伝えられるように、機能や場面に応じた会話表現を練習する。身近なテーマについてディスカッションを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅴ）

- ＜目的＞ 中級の文型を理解する。
- ＜内容＞ 中級の文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅵ（中上級）

≪対象≫中級の学習を一度は終えているが、中級の復習をしつつ上級の学習を行うことが望ましい者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解ⅥⅠ）

- ＜目的＞ 速読・多読のストラテジー（Skimming, Scanning etc.）を使って読解力の向上を目指す。
- ＜内容＞ 新聞記事等、時事的な内容の文章を読み進め、情報をすばやく、正確に読み取る練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解ⅥⅡ）

- ＜目的＞ 複雑な構造の長文の読解力を養成する。
- ＜内容＞ 物語やエッセイ、詩など、文学作品を味わう。

日本語Ⅰ・Ⅱ（語彙Ⅵ）

- ＜目的＞ 語彙を増やし、表現を豊かにする。
- ＜内容＞ 政治、経済、文化、社会等、各分野で頻出する語を理解し、適切に使えるように練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅵ）

- ＜目的＞ 1500 字程度の短いレポートを作成する。
- ＜内容＞ レポート作成の手順と、レポート作成に必要な表現を学ぶ。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現ⅥⅠ）

- ＜目的＞ スピーチやプレゼンテーションなど、独話型（monologue）の口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞ さまざまなトピックで、スピーチやプレゼンテーションを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現ⅥⅡ）

- ＜目的＞ 談話練習やディスカッションなど対話型（dialogue）の口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞ さまざまなトピックで、談話練習やディスカッション、ディベートを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅵ）

- ＜目的＞ 中級の文型を定着させ、上級の文型を理解する。
- ＜内容＞ 中級の文型が適切に使えるよう、復習を行う。さらに上級文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅶ（上級前期）

≪対象≫ 中級の学習を終え、かつ学習事項が定着している者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解AⅦ）

- ＜目的＞ 速読・多読のストラテジー（Skimming, Scanning etc.）を使って読解力の向上を目指す。
- ＜内容＞ 新聞記事等時事的な文章や論説文、説明文等の読解を通して、情報をすばやく、正確に読み取る練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解BⅦ）

- ＜目的＞ 複雑な構造の長文の読解力を養成する。
- ＜内容＞ 物語やエッセイ、詩など、文学作品を味わう。

日本語Ⅰ・Ⅱ（語彙Ⅶ）

- ＜目的＞ 語彙を増やし、表現を豊かにする。
- ＜内容＞ 名詞や動詞の連語、慣用句、漢語等を適切に使い、高度な表現ができるよう、練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅶ）

- ＜目的＞ 2000字程度の小論文等を作成する。
- ＜内容＞ レポートや小論文を作成するための知識や方法などを学ぶ。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現AⅦ）

- ＜目的＞ スピーチやプレゼンテーションなど独話型（monologue）の口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞ 様々なテーマで、スピーチやプレゼンテーションを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現BⅦ）

- ＜目的＞ ディスカッションやディベートなど対話型（dialogue）の口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞ 様々なテーマで、ディスカッションやディベートを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅶ）

- ＜目的＞ 上級の文型を理解する。
- ＜内容＞ 上級の文型を導入し、その文型を使って、短い文を作る練習を行う。

学習段階Ⅶ（上級後期）

≪対象≫上級の学習を行ったが、運用力をさらに伸ばすことが必要とされる者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解AⅦ）

- ＜目的＞速読・多読のストラテジー（Skimming, Scanning etc.）を使って読解力の向上を目指す。
- ＜内容＞新聞記事等時事的な文章や論説文、説明文等の読解を通して、情報をすばやく、正確に読み取る練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解BⅦ）

- ＜目的＞複雑な構造の長文の読解力を養成する。
- ＜内容＞物語やエッセイ、詩など、文学作品を味わう。

日本語Ⅰ・Ⅱ（語彙Ⅶ）

- ＜目的＞語彙を増やし、表現を豊かにする。
- ＜内容＞名詞や動詞の連語、慣用句、漢語等を適切に使い、高度な表現ができるよう、練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅶ）

- ＜目的＞2,500字程度の小論文等を作成する。
- ＜内容＞レポートや小論文を作成するための知識や方法などを学ぶ。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現AⅦ）

- ＜目的＞スピーチやプレゼンテーションなど独話型（monologue）の口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞様々なテーマで、スピーチやプレゼンテーションを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現BⅦ）

- ＜目的＞ディスカッションやディベートなど対話型（dialogue）の口頭表現能力を伸ばす。
- ＜内容＞様々なテーマで、ディスカッションやディベートを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅶ）

- ＜目的＞上級の重要文型を定着させる。
- ＜内容＞上級の文型が適切に使えるよう、復習を行う。

学習段階Ⅸ（超上級）

≪対象≫上級の重要文型100、基礎語彙10,000語、基礎漢字2,000字程度を習得し、すでにかんがりの運用力を有している者。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解AⅨ）

- < 目的 > 速読・多読のストラテジー（Skimming, Scanning etc.）を使って読解力の向上を目指す。
- < 内容 > 新聞記事等時事的な文章や論説文、説明文等の読解を通して、情報をすばやく、正確に読み取る練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（読解BⅨ）

- < 目的 > 高度な内容の文章の読解力を養成する。
- < 内容 > 近現代の小説やエッセイ、詩など、文学作品を味わう。

日本語Ⅰ・Ⅱ（語彙Ⅸ）

- < 目的 > 語彙を増やし、表現を豊かにする。
- < 内容 > 名詞や動詞の連語、慣用句、漢語等を適切に使い、高度な表現ができるよう練習を行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文章表現Ⅸ）

- < 目的 > 3,000字程度の論文等を作成する。
- < 内容 > レポートや論文を作成するための知識や方法などを学ぶ。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現AⅨ）

- < 目的 > スピーチやプレゼンテーションなど独話型（monologue）の口頭表現能力を伸ばす。
- < 内容 > 様々なテーマでスピーチやプレゼンテーションを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（口頭表現BⅨ）

- < 目的 > ディスカッションやディベートなど対話型（dialogue）の口頭表現能力を伸ばす。
- < 内容 > 様々なテーマでディスカッションやディベートを行う。

日本語Ⅰ・Ⅱ（文法Ⅸ）

- < 目的 > 高度な日本語の表現を身につける。
- < 内容 > 複雑な文型やより高度な表現を理解し、適切に使えるよう、練習を行う。

ビジネス日本語

《対象》ビジネスにおける日本語運用能力を高めたいと考えている者。

ビジネス日本語A

- < 目的 > 日本で就職活動や社会生活を行うための基礎知識の習得を目指す。
- < 内容 > 敬語の知識を含む初級日本語を学習する。また、日本文化や一般常識を学ぶ。

ビジネス日本語B

- < 目的 > 日本社会において、問題解決に役立つ日本語表現、マナーを習得する。
- < 内容 > 敬語で話せるようになるための発話練習やロールプレイを行う。一般常識や基礎的なビジネスマナーなども学ぶ。

ビジネス日本語C

- < 目的 > 日本のビジネスにおける日本文化を理解し、ビジネスシーンで必要とされるマナーや日本語力を身につける。
- < 内容 > 講義形式で行う。練習問題や課題等に取り組みながら学ぶ。

ビジネス日本語D

- < 目的 > 日本のビジネス社会で遭遇するさまざまな問題を理解し、解決する力を身につける。
- < 内容 > ロールプレイやディスカッションを通して、実践的に学ぶ。